

事務事業名		道路安全確保維持修繕事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系的	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	公共維持G	課長名	西川 徹	
	施策名	(12)生活道路の整備		担当者名	松村 直樹	電話番号	0854-40-1063	
	目的	対 A)市民(道路利用者) B)生活道路(市道)	意図	市内を安全に移動できる。		(内線)	2472	
	基本事業名	(036)生活道路の維持管理		予算科目	会計 014002	大事業名	道路施設管理事業	
目的	対 道路利用者	意図	安全に移動できるように道路を維持管理し、情報を発信する。		項目	101006	中事業名	道路安全確保維持修繕事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (25年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・道路維持管理計画に基づく、修繕箇所を毎年度ローリングによる評価で優先度を決定。 ・優先度の高いものから当該年度修繕工事箇所を選定し、修繕を行う。 ・毎年度、新規修繕箇所を加味した道路維持管理計画を策定し、修繕箇所のローリングによる再評価を行う。 ・交付金を活用し、法定化された市道橋の定期点検や道路ストック点検を実施する。 	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)				
	【点検等】	①道路ストック点検等業務委託		【点検等】		
	②点検結果に基づき道路維持管理計画修繕箇所の再設定	②点検結果に基づき道路維持管理計画修繕箇所の再設定		③橋梁の定期点検		
	③橋梁の定期点検	【工事】		①道路維持管理計画による優先度評価		
	④工事検査	②当該年度修繕工事箇所の選定		②当該年度修繕工事箇所の選定		
	⑤道路維持管理計画に基づく再評価	③積算、工事発注		③積算、工事発注		
		④工事検査		④工事検査		
		⑤道路維持管理計画に基づく再評価		⑤道路維持管理計画に基づく再評価		
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 契約件数	件	6	18	29	13
	イ 修繕箇所(工区)数	箇所	10	18	29	28
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	①生活道路の利用者 ②修繕が必要な生活道路等	ア 人口【国勢調査(推計)】	人	39,472	39,032	38,506	38,477
		イ 市道延長	km	1,158	1,158	1,160	1,161
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②修繕(補修)等を実施する。	ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	58.0	60.0	71.9	59.0	
	イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	70.8	71.0	51.7	71.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
【修繕費】18箇所5路線 4,952千円	財源内訳	国库支出金	千円	4,826	23,462	
【工事請負費】11箇所10路線 29,506千円		県支出金	千円			
【補償費】3箇所2路線 600千円		地方債	千円			2,900
【用地費】2箇所1路線 18千円		その他	千円		8,174	
		一般財源	千円	23,757	30,177	32,176
	事業費計(A)	千円	28,583	61,813	35,076	37,300
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	300	360	360	
	人件費計(B)	千円	1,166	1,409	1,428	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	29,749	63,222	36,504	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に道路維持管理計画を策定し、一般財源により本事業を実施している。 ・平成26年度からは、防災・安全交付金を活用し、市道橋梁の法定化された定期点検を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源のみで開始した事業であるが、道路ストック点検等の結果に基づき、より適正な優先度判定や特定財源の確保に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民から修繕要望がある。 ・市民から修繕実施について喜びの声がある。 ・議会から修繕の重要性と、特に、計画的な法面の防草コンクリートの必要性を指摘されている。

事務事業名	道路安全確保維持修繕事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・道路パトロールにより修繕箇所を把握し、計画に基づき修繕等を行っているため、成果は既に最大である。 ・平成26年度に道路ストック点検を行い、優先度評価や特定財源の確保に努めることで、成果の向上が見込まれる。 	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止すれば、道路の安全性が低下する。 ・市民からの修繕要望に応えられなくなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		<ul style="list-style-type: none"> ・道路維持管理計画で、通常維持である道路維持補修事業と大規模修繕である本事業について整理しており、類似事業の統廃合はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		<ul style="list-style-type: none"> ・道路維持管理等に必要な経費である。 ・修繕要望箇所は多く、本事業の拡充を望む声もある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・道路維持管理等に必要な経費である。 ・修繕要望箇所は多く、本事業の拡充を望む声もある。 	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域の道路維持管理を行うものであり公平である。 ・市が行うべき道路維持管理であるため、受益者負担はない。
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は市民、議会及び職員にも事業効果について理解を得られていると考えている。 ・対応できなかった修繕を計画的に行うことができ、道路利用者の安全が確保できる。 		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に道路ストック点検を行っており、点検を行うことで要件が合えば特定財源を確保することもできるため、同一程度の一般財源が確保できれば、道路修繕事業費の増額が見込める。 	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		